

# パーミストリー

*The Cosmological Palmistry*

人を生かす意志の話

文・挿絵・作図・装丁・写真・デザイン

興津 諦

手相監修

真澄



アドマック出版

はじめに

第一章 肯定思考

1 主体と脳の関係

2 人類共通の感動

3 生かす意志で考える

4 幸福について

5 悪い思考から自由になる

第二章 手相

1 手相にできること

2 手相について

3 九つのエリアとキーワード

4 三大線

5 生命線

5

11

12

16

20

30

37

45

46

48

53

58

61

6 生命線で見える流年法

7 生命線に表れるその他のしるし

8 限りある生命、生き続ける意志

9 運命線

10 太陽線

11 水星線

12 頭脳線

13 感情線

14 ますかけ線

15 手相に表れる主観と第六感

16 パーミストリーの時間

17 パーミストリーの事例

あとがきにかえて

著者略歴

66

72

74

77

80

83

85

90

97

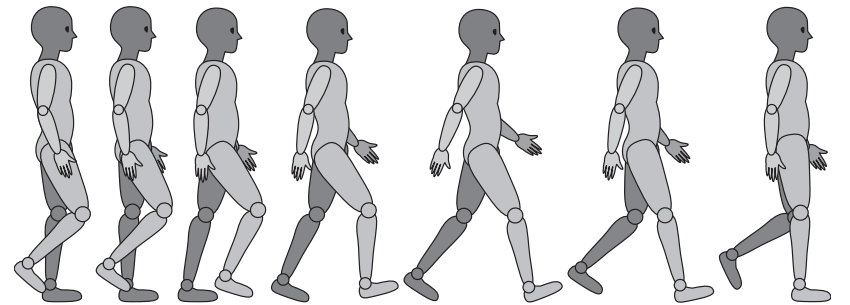
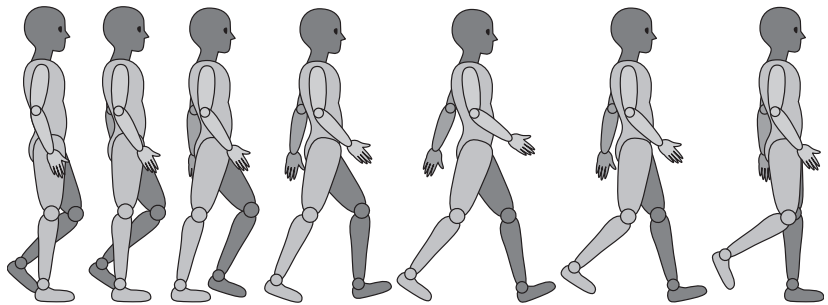
99

103

104

114

119



## はじめに

「パーミストリー」とは英語などで「手相」のことですが、本書の提案する〈パーミストリー〉は、第一章で詳述する〈肯定思考〉の実践を目的としたコミュニケーションメソッドの呼称で、その正式名称は〈宇宙論的パーミストリー The Cosmological Palmistry〉という、何とも壮大なものです。手相はそのきっかけを作り、人の存在とその持ち物についての理解を助ける強力なツールとなるものです。

本書の構成は、まず第一章で〈肯定思考〉についてお話しします。科学では存在しないとされている魂というものがもし存在するとしたらそれは何なのか、時代も超えて全人類が感動し涙するものの正体について、私たちの本当の存在とその目的について、幸福について、思考による支配について書いています。

第二章では、手相というツールが持っている大きな可能性のこと、実際の手相の見方について、命と意志のこと、第六感のこと、そして実際のパーミ



ストリーの事例など、手相というツールをきっかけにどんなコミュニケーションができるかを書いています。以上、たった二章という構成です。

実はもうひとつ重要な隠しテーマがあつて、それは「理想の人生を送る方法」という、いわゆるスピリチュアル本で展開されるような話にもなるのですが、「信じる者は救われる」的な、かの物理学者大槻義彦教授がお怒りになるようなオカルト的内容ではありません。私たちはどうしたつて十分にスピリチュアルな存在だとは思いますが、それをもって「わかる人にはわかる」といった調子で、やれマインドがどうの、前世がどうの、悪霊がどうのと、証明できないのはまあしょうがないとしても、仮説というにはあまりに胡散臭い前提を当たり前の事実だと言つて憚らないような、「わかる人だけ仲間」みたいな話にしてしまいますと、まず家族と対立します。おじいちゃんおばあちゃんや子どもにまで笑われて、職場や自宅の居心地からして悪くなります。そのようなものは書きません。

本書は一般のみなさんだけでなく、科学者の先生方に読んでいただいても共感していただける内容にしたつもりです。また、宗派を問わず様々な宗教

で人々の幸福に関わるお仕事をしているみなさん、心理学などカウンセリングをされている先生方、高度な占術によつて未来を語る先生方にも、是非ご一読いただきたいと存じます。一般のみなさんについては、特に人間関係で悩みがあるという方、自分の生き方に自信が持てないという方、なぜか嫌われるという方、モテすぎて困る方、旦那が理想とだいぶ違ったという方や、これから理想の相手に巡り合いたいと夢見る方々などにもおすすすめです。

手相については、インチキだろうと言われる人はやっぱりいます。ただ、これが十九世紀ごろのヨーロッパで大学の研究科目として盛んに行われたという話もありますし、脳や体との関係にかなりの規則性が認められるものですから、インチキと言い切るのはまず無理でしょう。遺伝するんだから単なる容姿のひとつだという意見もあるようですが、それは脳が遺伝するから手相も遺伝するということなのです。

本書で紹介する手相は、監修を担当したパーミストの真澄がこれまで実践してきた、人と親しくなつて人を生かすための手相鑑定（真澄流）をベースとし、これだけ覚えておけば十分自信がつくという基礎知識をまとめたもの

